

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム きんもくせい

目標達成計画

作成日: 平成30年 8月 8日

目標達成計画は自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災や水害等の災害時の対策並びに地域連携のシステムづくり。	火災時はもちろん、近年、各地で多発している水害、地震の際、利用者が安全に避難出来るよう消防との連携や方法を全職員が身に着ける。また災害時、地域の方を当施設に受け入れたり、地域の方の援助を受けられるような関係づくりを行う。	年に2回、行っている防災訓練だけではなく、毎月の勉強会の際、実践的な講習を行い、それを写真や図入りの記録にまとめ、全職員が、何時でも見直せるようにする。また運営推進会議の際、自治会の方々に、災害時に当施設を避難所として提供することを進言するとともに、当施設の利用者様の援助をお願いします。	12ヶ月
2	29 49	事業所と地域とのつきあい及び、利用者様の外出機会の創設。	地域密着型の施設として地域の方々との交流を図り、地域の一員として日常的に交流が出来るようにする。	当施設で行われる運動会等の法人ノイベントに地域の方々にも来て頂けるようにする。また近隣で行われる朝市に出掛けたり、保育所等との交流も積極的に行い、利用者様の外出の機会も増やしていく。	12ヶ月
3	19 20 51	ご家族、知人と利用者様とのつながりの継続。ご家族や利用者様の施設への思いを汲み取り、施設の運営に反映。	ご家族や知人がみえられた際には、また来たいと思って頂けるよう対応。近況の報告も忘れずに行う。自宅への外出、外泊時にも十分配慮。ご家族の目線による意見は、謙虚に受け止める。	遠方に住まわれているご家族や疎遠になられてしまっているご家族には、請求書と一緒に近況報告を写真と一緒に送る。また施設独自のアンケートを作成し、その内容を全職員で検討し、施設の運営に反映させる。	12ヶ月
4					

注) 項目の欄については、自己評価項目 No.記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。